

◆他者とのかかわり方について学習しよう

<p>1 対象児童生徒（対象学級）の実態</p> <ul style="list-style-type: none">・ 中学部 病弱 （2名の生徒）・ 集団生活の経験不足や対人関係への不安から、相手に対する十分なコミュニケーションが取れないことがある。
<p>2 指導目標</p> <ul style="list-style-type: none">・ 自分の良さを生かし、聞き手のことを考えながら、より良いコミュニケーションをとることができるようになる。
<p>3 取組の中心となる教科・領域等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 自立活動
<p>4 使用したアプリ、周辺機器</p> <ul style="list-style-type: none">・ ビデオ機能・ 大型テレビ、接続コード・アダプタ
<p>5 指導の経過及び児童生徒の変容</p> <ul style="list-style-type: none">・ 11月の職場体験学習に向けて、10月下旬から合計3時間の学習を行った。・ あいさつ、自己紹介、相手への質問、お礼や謝罪等の基本的なコミュニケーションについての学習を行った。教師がそれらのよい例と悪い例を事前に iPad で録画し、それを授業で生徒に見せながら学習を進めた。・ 生徒も基本的なコミュニケーションの練習を行い、生徒同士お互いにその様子を iPad で撮影した。自分や友達の動画を見ながらコミュニケーションの取り方を学ぶことができた。・ 生徒は、はじめのうちは少し恥ずかしがる場面も見られたが、動画で自分の姿勢や表情、声を確認するたびにコミュニケーションのとり方を工夫することができた。撮影を重ねるごとに学習意欲が増していった。
<p>6 指導のポイント（変容の要因、効果的な支援方法等）</p> <ul style="list-style-type: none">・ iPad では画面が小さいので、撮影した動画は大型テレビで見せた。・ 生徒の活動の肯定的な評価を具体的に行う場面や、相互評価で賞賛し合う場面を設定し、自分の良さを生かしながら自信をもって活動できるよう配慮した。